

「終わりよければ」いせの会 会報35

平成23年7月10日版

電話 05966・663・52266
ファクス 05966・663・52336

地域でのホスピスを考えるための市民向け
公開講座の準備の現状をお知らせします

今までに決まったこと

- ① 日時 9月10日(土)
18時半～20時半 参加費無料
- ② 場所 観光文化会館 大会議室を確保
- ③ 講師 金田亜可根さん(当日、宿泊)
- ④ 市広報8月1日号に掲載決定。その文。

伊勢のホスピス、市民が考えよう

最期まで希望が持てる人生を、岡崎
で市民活動を続け11年の金田亜可根
さんが講師。施設ホスピスと在宅ケア
を身近に考えよう。400名先着順。

- ⑤ チフシを作成、後援名義もとりました。
伊勢市・医師会・歯科医師会・薬剤師会・三重県看護協会・ケアマネ協会南勢志摩支部・南勢地域緩和ケアネットワーク・みえ生と死を考える市民の会
- ⑥ 講座準備会の日程は、近日中に決定。

「エンディングノート」講習会の報告

- 6月8日は、14名と多数の参加。
- 「医療における意思伝達」を野口先生の導入に続き、辻村先生の詳しい資料で説明されました。
- 資料を希望される方へ後日でも提供可
- 皆さんの論議の一部をメモをもとに、以下報告します。

- 医療用語の「告知」「予後」「延命」は、実際どのように使われるのか、知った。
- 胃瘻の実際は、知らないことだらけ。
- 本人の代わりに決めてと言われて困る。
- 胃瘻は後で使わない事も可能と知った。
- まずは自分が医療行為を納得することが大事。できなければ家族納得、でも医師が納得するという場面も知った。
- (病院初診時の「説明への意向調査」)
- がん保険の受取は、死亡診断書に死因をがんと書く事で可能。肺炎はダメ。
- 「事前指定書」を書くべき時だと実感。
- でも一人で書いても意味がない。家族や普段かかっている医師と話し合う。
- 医療にかかるときに、自分の情報をきちんと伝える事が大事。「お薬手帳」など、あるのに持参しない人がほとんど。

講習会(原則として、第二水曜日 夜7時～8時半) 縁の家にて 無料

主テーマ	講師 (補佐役)	
4月13日 「介護の始まり」	森 (潮田)	終了
5月11日 「遺言の書き方」	浅沼 (井戸坂)	終了
6月 8日 「医療での意思伝達」	辻村 (野口)	上記のごとく終了
7月13日 「今の世の葬儀」	中川 (美濃部)	間近ですがヨロシク!
8月10日	(講座前半の振り返り)あるいは講演の準備会	
9月14日	→ 9月10日の講演会に振替える(別会場)	
10月12日	後半(検討中)	全部で3回シリーズを検討中
11月 9日	後半(検討中)	
12月14日	後半(検討中)	

☆出席の初回にノート資料をお渡しします(その後も持参下さい)
お知り合いを、気楽にお誘い下さい。

このファクスが、ご迷惑な場合は、その旨ご連絡をお願いします。